

編集後記

「航空と文化」をお読みの皆様、この度は本誌をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

今号では、「カスタマーハラスメントの基礎知識と実務対応のポイント」につきまして、成蹊大学原教授にご執筆いただきました。6月4日に改正労働施策総合推進法が成立したことは、この問題への社会全体の意識の高まりを示すものであり、航空関連サービスにおいても速やかな対応が必要なることを痛感いたしました。

そして、特集「赤い翼：パリー東京プロジェクト」では、1936年に佐賀で途切れた冒険飛行家アンドレ・ジャビー氏の航跡を再びつなぎ、パリー東京の飛行を完結させようという壮大な試みの全貌をご紹介します。先人の未完の夢を実現し、私たちの大空への憧れを再び強くかき立てるこのプロジェクトの実現に、協会職員一同大きな期待を寄せています。

さて、現在、国際宇宙ステーション（ISS）では大西卓哉宇宙飛行士が長期滞在中です。大西氏は、ANAのパイロット経験を持ち、宇宙という新たなフロンティアでご活躍されています。2度目のISS滞在中、若田氏、星出氏に続き日本人3人目のコマンダー（船長）を務めるその姿は、航

空が宇宙へとつながる無限の可能性を具現化し、私たちに尽きることのない感銘と未来への想像力を与えてくれます。

振り返れば、日本人初代コマンダー（船長）である若田光一氏はJAL出身で、1996年のSTS-72ミッションで日本人初のミッションスペシャリストとして宇宙へ。複数回の宇宙飛行と日本人初のISS長期滞在を実現し、現在は民間宇宙企業で活躍され、航空と宇宙の連携を象徴する存在です。

航空技術の発展が宇宙への道を切り拓き、宇宙での活動が新たな知見と、地球とは異なる「宇宙文化」とも呼べる価値観を創出する。この壮大な繋がりには、人類の飽くなき探求心と文化的な進歩を物語っています。

また、この6月には宇宙飛行士の山崎直子氏が日本航空協会理事にご就任されました。宇宙から地球を見たことがある山崎さんの視点で当協会の活動にアドバイスをくださることと期待します。

「航空と文化」編集部は、これからも大空の魅力に加え、宇宙へと広がる人類の挑戦、そしてそこから生まれる多様な文化を、皆様と共に深く探求して参る所存です。



YouTube

日本航空協会チャンネル

『航空と文化』編集部



表紙の写真について

コードロン・シムーン復元の作業風景です（2024年冬、仏ポントワーズ飛行場にて）。特集「赤い翼：パリー東京プロジェクト」をご覧ください。

航空と文化 第131号 2025年夏季号（年2回発行） ISSN 0389-2484

2025年7月15日発行

編集人 荻田重賀 発行人 高田直人

発行所 一般財団法人 日本航空協会

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1 TEL：03-3502-1206 FAX：03-3503-1375

E-mail：syupan@aero.or.jp URL：https://www.aero.or.jp/

定価 550円（税込） 定期購読料 2年（4冊）送料込2,200円（税込）

振替口座 00180-7-147798

制作・印刷所 株式会社スペース企画